

踊りの形と意味が作られました。メーボットはタイ古典舞踊の基礎練習に使用されています。

メーボツヤイ

現在のメーボツヤイは、ウイタヤライナータスィンが設立されたとき、タイ舞踊の母と言われているラムン・ヤマクップ先生が初めて古いタイ舞踊の教科書を基にして、ウイタヤライナータスィンでの実技の訓練のために作ったものです。ラムン先生が作ったメーボツヤイの詩は、それぞれの踊りの形に名前と意味があり、それを6・8の形に分類した人もいれば、6・6に分類した人もいます。しかし、実際に踊ってみると8・9に分けた方が踊りの振りを理解しやすいことが、本書を制作するにあたって判明しましたので、ここでは8・9の形を紹介したいと思います。

1. テープパノム (เทพนม) : 手を合わせる天使
2. パトム (ปฐม) : 初めに
3. プロムスィーナー (พรหมสี่หน้า) : 4つの顔を持つバラモン神
4. ソーツソイマーラー (สอดสร้อยมาลา) : 花輪をつくる
5. チャーナンノーン (ชานางนอน) : ゆったりと寝る
6. パーラーピアンライ (พาลาเพียงไหล) : 肩の高さのパーラーの形
7. ピッサマイリアンモーン (พิศมายเรียงหมอน) : 枕を並べて美しい
8. ガンハンロン (กังหันร่อน) : 風車が回る
9. ケックタオカオラン (แขกเต้าเข้ารัง) : ケックタオ鳥が巣に戻る
10. グラタイチョムチャン (กระต่ายชมจันทร์) : 月を眺めるうさぎ
11. チャンソクロット (จันทร์ทรงกลด) : 月食
12. プラロットヨーンサーン (พระรถโยนสาร) : プラロット神が手紙を運ぶ
13. マーンカプラン (มารกลับหลัง) : 鬼が振り向く
14. ユアンクライー (เยื้องกราย) : 美しく歩く
15. チュイチャーイカオワン (อุยฉายเข้าวัง) : チュイチャーイが王宮に入る
16. マンコーン (มังกร) : 竜